

# 平成24年6月3日の定期保守作業

今回は、これまで通り午後からの作業で、9600形59647号機／C61 18号機の磨き作業を行ったのち直方いこいの村へ移動、D51 225号機の磨き作業と周辺の清掃作業を行いました。

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
①9600形59647号機	  	<p>すっかり「お馴染みの光景」となった、キューロクの作業風景です。油のしみ込んだウエスで磨き込んでいきます。当然のことながら手に油が付く事になります。こういった「汚れ作業」は最近では気嫌いされる風潮がありますが、手を汚さないと分からない事だってある筈。一人でも多くの方にご賛同・ご参加頂きたいと思います。</p> <p>こちらは一体何をやっているのでしょうか・・・？(下へ続く)</p> <p>何やら部品を外して手入れを行っているようですが、私もメカ的事は良く分からないので、今度聞いておきますね(笑)メカ好きのメンバーは、時折こうやって分解整備をやっている事があります。もし見かけたら「何してんの～？」と、気軽に声を掛けて下さい。色々教えて貰えるかも。まれに専門用語が飛び交うかもしれませんが・・・</p>
②C61 18号機		<p>今回は人数をかけて磨き作業を行っています。このC61 18号機は元々、熊本県八代市の個人の方が保存していたものを譲り受け、修復を施したのち現在に至ります。          &lt;注意&gt;          通常、この場所への立ち入りは出来ません、予め御了承下さい</p>
③番外編		<p>C61の磨き作業を尻目に、何やら怪しい作業・・・というのは冗談で、部品等に不具合があった場合にこうやって修理を行っています。毎回行っている訳ではない上、一般の方の立ち入りを御遠慮頂いているエリアの為、「裏の様子」として紹介させて頂きました。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
④いすゞキュービック 国鉄バス		<p>バスの清掃は「いこいの村」にて行っています。そういえば、確か今月は「車検」じゃなかったっけ・・・？大型車は基本「1年車検」ですので毎年更新しないといけません。大がかりな修理等がなければ良いのですが・・・</p>
		<p>昭和61年製造で、既に四半世紀を過ぎた車体は想像以上に傷みが出てきています。特に屋根板の腐食が深刻で、放っておけば屋根が崩落する可能性も。そこで、これ以上の悪化を防ぐべく、処置を施す事となりました。初夏の強い日差しとジュラルミン製車体の熱で、作業している御二方は「暑さ」と「熱さ」のダブルパンチを食らい、相当にキツかったと思います。</p>
⑤D51 225号機(直方いこいの村)		<p>「直方いこいの村」のD51も炎天下での作業。最高気温が27度と、すっかり「夏模様」。後ろに見える緑も、非常にキレイです・・・</p>
		<p>見よ、この見事なまでの真っ青な空！しか～し、あと数日もすれば「梅雨入り」(多分)。一気にうっとおしい季節となります。雨が酷いと作業が出来ない場合があります。それを見越してか特に念入りに作業されたのではないのでしょうか・・・</p>